

地域の要望を市長に届けます「予算要望書」

毎年、地域の皆さんと一緒に作っている「予算要望書」。「こんな事業に重点を置いてほしい」と思ったことに予算をつけてもらえるよう、市長に直接要望を伝えるものです。昨年10月23日に熊谷市長に手渡しました。内容の一部を掲載します。次の要望書に向け、あなたのご意見をお寄せください。

要望書の全文はこちらから→



防災

福祉避難室・避難所、ペット同行避難所の開設訓練を定期的におこなうこと。地域で専門的な知識を持った人材や団体・事業所を活用できるよう支援体制を充実させること。



東京2020オリ・パラを契機としたまちづくり

市街地への車の乗り入れを減らすためパーク&ライド(郊外に駐車し公共交通を使う)や循環バスを取り入れるなど、交通機関の整備をすること。



女性が生きやすい社会

女性若年無業者を支援するプログラムを行うこと。その際は、男女共同参画センター、ひきこもり地域支援センター、千葉市子ども・若者総合相談センター(Link)が連携すること。

多様な学びの場

フリースクール・夜間中学などの情報を、子ども・保護者・在留外国人が得られるよう、教育センターや国際交流協会などと連携して、掲示や相談窓口で紹介するなどの工夫をすること。

性の多様性の尊重

児童・生徒と保護者向けに性の多様性の理解を深める学習の機会を、各学校で設けること。その際は民間団体を活用し、当事者の話が聞けるよう具体的な計画をたてること。



高齢者の交通安全対策

車を運転しない高齢者の移動手段を確保できるよう交通網の充実を進めること。また、国家戦略特区を利用してライドシェア(ルールの下での有償相乗り)の導入を検討すること。

社会で子育て

保育所・園・こども園での一時預かりの定員を確保すること。経営重視で保育の質の低下が懸念されるため、保育園ごとの離職率を調べ、公表すること。



児童虐待防止

児童相談所の機能強化として、ケースワーカーを増やすこと。家庭復帰支援も充実させること。また里親の支援体制を整えること。



脱プラスチック

マイクロプラスチックの発生を防ぐため、過剰なプラスチックの使用を抑制し、川や海への流出を防ぐための啓発事業を積極的に展開すること。



緑区の停電現場へ
9月22日、被害の大きかった緑区へ行きました。JR土気駅から土気消防署方面へ北上すると、田や畑、そして杉林が広がっています。道を歩くと、「イノシシに注意」の看板があります。停電で、テレビやインターネットからの情報はまったく得られなかったそうです。とても原始的ではありますが、「貼り紙(写真)」が最強の情報伝達方法でした。

各地で台風被害が
9月の台風15号の影響で、各地で木が倒れ、大きな被害が出ました。「電気が来ない!」「水が出ない!」「エアコンが使えない!」「コンビニも停電で閉店!」「区役所や東電に電話がつながらない!」などの声が市民ネットワークにも届きました。そして被害状況が明らかに。なるにつれて、千葉市では様々な対応に追われました。「停電で水をくみ上げるポンプが動かないので断水した」「テレビが映らない、携帯電話を充電しても電波がこない、防災無線が聞こえないなどで、必要な情報が届かない等々…」

視察報告

千葉市の防災計画は見直し必須!

復旧と災害対策に向けて

東京電力による停電復旧の順番は「原因が明確になったものから工事を行う」ことがわかりました。森林が多く、倒木で道がふさがれ集落まで車で近づけない場所は、木を除去しなければ電気工事ができないため復旧が遅れるのです。自然の猛威を前に、人間は本当に微力であることを実感。粛々と工事が進むのを待つしかありませんでした。
市議会でも、「森林の適正管理」「避難所の整備」「風水害や停電の対策を充実させるなど防災計画の見直し」に向けて、今回の災害の検証と今後の対応について、一つひとつ取り組んでいきます。



↑密集林の中で倒れた杉

ご参加お待ちしております 議員とお話しませんか!

市民ネットワークの議員が、あなたの街にお話しに伺います。詳しい場所はお問い合わせください。

- 1月10日(金)10:30~12:00
千葉市議会応接室(市役所隣)
- 1月28日(火)10:00~12:00
ひだまりと本の家(若葉区大宮台)
- 1月29日(水)10:00~12:00
花園地区自治会館(花見川区花園)
- 2月1日(土)13:30~15:30
カフェ平凡(中央区松波)
- 2月5日(水)13:30~15:30
市民ネットワークみはま(美浜区高洲)



お近くの公民館等で議員がお話します